



平成31年4月15日 第820号
一般財団法人日本遺族会
〒100-0004 東京都千代田区九段南一丁目六番一七号
千代田会館三階
電話 03-3261-5521
振替 00160-6-25389
編集発行人 村上和男
毎月1回15日発行
定価 1部130円(税込)

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰藉救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

31年度 政府予算成立 本会の要望概ね予算化

平成三十一年度(2019年度) 政府予算は、三月二十七日の参議院本会議において成立した。本会が昨年十二月、地元選出の自民党所属国会議員に対して行った陳情運動の結果、公務扶助料等の据え置きをはじめとする戦没者遺族の処遇改善や、遺骨収集事業関係費及び戦没者遺児による慰霊友好親善事業など概ね要望どおり予算化された。

本会関係では、昨年末の陳情運動を行った戦没者遺族の処遇改善項目に、戦没者遺族の処遇改善に関する要望事項は、全国の遺族代表の熱心な運動を展開したこと、自民党所属国会議員の支援により概ね要望に沿った予算が得られた。戦没者遺族の処遇改善では、恩給法関係における公務扶助料等は据え置きとなり、扶養加給も同額での支給が決まった。

遺骨収集事業等では、五百万円(南方地域の遺骨調査に係る経費が三億三千万円、遺骨収集費が三億二千七百万円等)、遺骨収集事業には七億五千五百八十五人。うち、少なくとも一人は十八歳未満の遺族がつけられた。



靖国神社に春

平成30年度 本会事業実施一覧

| 本会主催戦跡慰霊巡拝 | 参加者 | 遺骨収集掃蕩事業 | 派遣者 | 収容数 |
|------------------|---------|-------------------------|-----|-----|
| 沖縄 1地域 1回 | 7 | 硫黄島(収容) | 12 | 42 |
| 戦没者遺児による慰霊友好親善事業 | 参加者 | 旧ソ連・ハバロフスク地方(収容) | 6 | 74 |
| 旧満州 | 11 | 旧ソ連・ザバイカル地方(収容) | 2 | 27 |
| 旧ソ連 | 16 | 旧ソ連・ブリアート共和国(収容) | 1 | - |
| ビスマーク諸島 | 13 | 旧ソ連・クラスノヤルスク地方(収容) | 2 | 11 |
| 西部ニューギニア | 12 | ビスマーク・ソロモン諸島(収容) | 7 | 494 |
| 東部ニューギニア | 11 | トラック諸島(収容) | 1 | 3 |
| 北ボルネオ・マレー半島 | 6 | 樺太・占守島(収容) | 2 | 2 |
| マリアナ諸島 | 21 | パラオ諸島(収容) | 2 | 45 |
| トラック・パラオ諸島 | 12 | 東部ニューギニア(収容) | 6 | 42 |
| フィリピン(1次) | 85 | マーシャル諸島(収容) | 1 | 48 |
| フィリピン(2次) | 85 | ミャンマー(収容) | 2 | 30 |
| ソロモン諸島 | 8 | 硫黄島(掘削立会) | 12 | - |
| ミャンマー・タイ | 36 | マリアナ諸島(調査) | 8 | - |
| 台湾・バシー海峡 | 13 | ビスマーク・ソロモン諸島(調査) | 10 | - |
| マーシャル・ギルバート諸島 | 10 | 東部ニューギニア(調査) | 6 | - |
| 中国 | 26 | パラオ諸島(調査) | 3 | - |
| 西部ニューギニア(特定地域) | 10 | ミャンマー(調査) | 6 | - |
| 東部ニューギニア(特定地域) | 11 | インド(調査) | 2 | - |
| ミャンマー(特定地域) | 24 | マーシャル諸島(調査) | 1 | - |
| 18地域 18回 | 410 | 11地域 | 92 | 818 |
| 昭和館 | 入館来場者 | 海外民間建立慰霊碑移設等事業 | 派遣者 | |
| 昭和館 | 417,355 | ロシア・カザフスタン・フィリピン 3地域 4回 | 8 | |
| 巡回特別企画展(群馬県) | 9,069 | 樺太・千島戦没者慰霊碑維持管理事業 | 派遣者 | |
| 巡回特別企画展(香川県) | 11,386 | 樺太 1地域 1回 | 2 | |



「同期の桜」を歌う会
最初に靖国神社に眠る英霊に感謝の黙祷を捧げ、大村益次郎の銅像下に設けられた特設ステージに袴姿女性コーラスグループが上がり、参集した約千五百人とともに十数曲の懐かしい軍歌を合唱し、最後に「同期の桜」を熱唱して閉会した。

昭和館事業では、「昭和」の運営に係る経費として四億八千万円が...

「同期の桜」を歌う会
4月6日に開催
英霊に感謝の黙祷を捧げ、大村益次郎の銅像下に設けられた特設ステージに袴姿女性コーラスグループが上がり、参集した約千五百人とともに十数曲の懐かしい軍歌を合唱し、最後に「同期の桜」を熱唱して閉会した。

昭和館事業では、「昭和」の運営に係る経費として四億八千万円が...

日本遺族通信 年間定期購読のお知らせ

毎月、お手元までお届けする年間定期購読です。戦没者の英霊顕彰(遺骨収集、慰霊友好、慰霊巡拝)、遺族の処遇改善等々の遺族関係の情報を掲載しておりますので、是非、この機会にお申し込みください。次世代を担う青年部(孫・ひ孫)の皆様も是非お申し込みを。

年間購読料/1,560円 (1年間 12回 税金・送料込)

お申込み 日本遺族会事務局 ☎03-3261-5521

「同期の桜」を歌う会
最初に靖国神社に眠る英霊に感謝の黙祷を捧げ、大村益次郎の銅像下に設けられた特設ステージに袴姿女性コーラスグループが上がり、参集した約千五百人とともに十数曲の懐かしい軍歌を合唱し、最後に「同期の桜」を熱唱して閉会した。

昭和館事業では、「昭和」の運営に係る経費として四億八千万円が...

「同期の桜」を歌う会
最初に靖国神社に眠る英霊に感謝の黙祷を捧げ、大村益次郎の銅像下に設けられた特設ステージに袴姿女性コーラスグループが上がり、参集した約千五百人とともに十数曲の懐かしい軍歌を合唱し、最後に「同期の桜」を熱唱して閉会した。

「同期の桜」を歌う会
最初に靖国神社に眠る英霊に感謝の黙祷を捧げ、大村益次郎の銅像下に設けられた特設ステージに袴姿女性コーラスグループが上がり、参集した約千五百人とともに十数曲の懐かしい軍歌を合唱し、最後に「同期の桜」を熱唱して閉会した。

靖国神社 永代神楽祭係

〒102-8246 東京都千代田区九段北3-1-1
電話 (03)3261-8326(代表)
FAX (03)3261-8320(直通)

御祭神の御遺徳を 子々孫々に承継するために 永代神楽祭の御案内

靖国神社では、ゆかり深い御祭神の奉慰のため永代神楽祭(命日祭)を日々齋行しております。この祭典は、一年一度、御遺族に御参列戴き、御本殿にて齋主が祝詞の中で御祭神のお名前を奏上、続いて仕女が御神楽をお捧げするお祭りです。

一度お申し込み戴きますと、永代にわたり祭典を行います。

御祭神の御遺徳を子々孫々に継承するために、皆様のお申し込みをお待ち申し上げます。

【祭費料】 金一〇万円から (御祭神一柱につき)

【神楽奉養日】 一年に一度 (御命日または御希望の日をお申し込み時に御指定戴きます)

◆毎年、事前に御案内状をお送りし御参列の有無や人数を伺います。

◆家族・縁故の方々も一緒に御参列できます。(代理の方の御参列も可)

◆詳しくはパンフレットを御請求下さい。

「同期の桜」を歌う会
最初に靖国神社に眠る英霊に感謝の黙祷を捧げ、大村益次郎の銅像下に設けられた特設ステージに袴姿女性コーラスグループが上がり、参集した約千五百人とともに十数曲の懐かしい軍歌を合唱し、最後に「同期の桜」を熱唱して閉会した。

「同期の桜」を歌う会
最初に靖国神社に眠る英霊に感謝の黙祷を捧げ、大村益次郎の銅像下に設けられた特設ステージに袴姿女性コーラスグループが上がり、参集した約千五百人とともに十数曲の懐かしい軍歌を合唱し、最後に「同期の桜」を熱唱して閉会した。

三地域を相次いで実施 マーシャル等から483柱奉還

JARRWC

日本戦没者遺骨収集推進協会(JARRWC)は、マーシャル諸島、ビスマーク諸島、ミャンマーの遺骨収集推進団を相次ぎ派遣し、本会からもそれぞれの地域に団員を派遣した。現地での収容作業を終えて無事帰還した派遣団は、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で開催された引渡式で関係遺族が見守る中、厚生労働省へ遺骨を引き渡した。

マーシャル諸島

マーシャル諸島戦没者遺骨収集は、二月二十日から三月七日の期間で実施され、本会から一人を派遣した。

また、派遣団員は収容した遺骨を丁寧に洗骨し、ウォッセ島の海岸で焼骨式並びに追悼式を行い戦没者の冥福を祈った。

マーシャル諸島共和国の首都マジュロからチャーター機でウォッセ環礁ウォッセ島に到着した派遣団は、現地調査派遣の調査結果に基づき、島内の集団埋葬地と思われる場所を掘削し、第八〇二海軍航空隊本部跡及び第六四警備隊本部跡周辺の二箇所から四十八柱の遺骨を収容した。



焼骨式の準備を行う団員=3月3日、ウォッセ島で

また、派遣団員は収容した遺骨を丁寧に洗骨し、ウォッセ島の海岸で焼骨式並びに追悼式を行い戦没者の冥福を祈った。

マーシャル諸島共和国の首都マジュロからチャーター機でウォッセ環礁ウォッセ島に到着した派遣団は、現地調査派遣の調査結果に基づき、島内の集団埋葬地と思われる場所を掘削し、第八〇二海軍航空隊本部跡及び第六四警備隊本部跡周辺の二箇所から四十八柱の遺骨を収容した。

日本遺族会は、日本戦没者遺骨収集推進協会が海外に未だ残されている遺骨に関する情報収集を行う現地調査に協力している。今回、インド、パラオ諸島の各地域に団員を派遣した。

インド現地調査第三次派遣では、一月二十七日から二月八日の期間で、マニプール州インパールとナガランド州コヒマの二班に分かれ調査した。派遣団は、在インド日本国大使館から大使館員が同行し、インド外務省

日本遺族会は、日本戦没者遺骨収集推進協会が海外に未だ残されている遺骨に関する情報収集を行う現地調査に協力している。今回、インド、パラオ諸島の各地域に団員を派遣した。

日本遺族会が厚生労働省から委託を受けて実施している海外民間建立慰霊碑移設等事業は、今年二月に派遣したフィリピン・レイテ島への調査、埋設等事業を実施

日本遺族会が厚生労働省から委託を受けて実施している海外民間建立慰霊碑移設等事業は、今年二月に派遣したフィリピン・レイテ島への調査、埋設等事業を実施

日本遺族会が厚生労働省から委託を受けて実施している海外民間建立慰霊碑移設等事業は、今年二月に派遣したフィリピン・レイテ島への調査、埋設等事業を実施

未送還遺骨の情報収集

日本遺族会は、日本戦没者遺骨収集推進協会が海外に未だ残されている遺骨に関する情報収集を行う現地調査に協力している。今回、インド、パラオ諸島の各地域に団員を派遣した。

日本遺族会が厚生労働省から委託を受けて実施している海外民間建立慰霊碑移設等事業は、今年二月に派遣したフィリピン・レイテ島への調査、埋設等事業を実施

日本遺族会が厚生労働省から委託を受けて実施している海外民間建立慰霊碑移設等事業は、今年二月に派遣したフィリピン・レイテ島への調査、埋設等事業を実施

日本遺族会が厚生労働省から委託を受けて実施している海外民間建立慰霊碑移設等事業は、今年二月に派遣したフィリピン・レイテ島への調査、埋設等事業を実施

日本遺族会が厚生労働省から委託を受けて実施している海外民間建立慰霊碑移設等事業は、今年二月に派遣したフィリピン・レイテ島への調査、埋設等事業を実施

日本遺族会が厚生労働省から委託を受けて実施している海外民間建立慰霊碑移設等事業は、今年二月に派遣したフィリピン・レイテ島への調査、埋設等事業を実施

日本遺族会が厚生労働省から委託を受けて実施している海外民間建立慰霊碑移設等事業は、今年二月に派遣したフィリピン・レイテ島への調査、埋設等事業を実施

遺骨収集帰還事業

日本遺族会では、2019年度戦没者遺骨収集帰還事業への参加希望者の事前登録を行っている。戦没者の遺骨をはじめ青年部(孫、曾孫等)の方にも広く登録願いたい。申込登録要項は次のとおり。

日本遺族会では、2019年度戦没者遺骨収集帰還事業への参加希望者の事前登録を行っている。戦没者の遺骨をはじめ青年部(孫、曾孫等)の方にも広く登録願いたい。申込登録要項は次のとおり。

日本遺族会では、2019年度戦没者遺骨収集帰還事業への参加希望者の事前登録を行っている。戦没者の遺骨をはじめ青年部(孫、曾孫等)の方にも広く登録願いたい。申込登録要項は次のとおり。

日本遺族会では、2019年度戦没者遺骨収集帰還事業への参加希望者の事前登録を行っている。戦没者の遺骨をはじめ青年部(孫、曾孫等)の方にも広く登録願いたい。申込登録要項は次のとおり。

日本遺族会では、2019年度戦没者遺骨収集帰還事業への参加希望者の事前登録を行っている。戦没者の遺骨をはじめ青年部(孫、曾孫等)の方にも広く登録願いたい。申込登録要項は次のとおり。

日本遺族会では、2019年度戦没者遺骨収集帰還事業への参加希望者の事前登録を行っている。戦没者の遺骨をはじめ青年部(孫、曾孫等)の方にも広く登録願いたい。申込登録要項は次のとおり。

日本遺族会では、2019年度戦没者遺骨収集帰還事業への参加希望者の事前登録を行っている。戦没者の遺骨をはじめ青年部(孫、曾孫等)の方にも広く登録願いたい。申込登録要項は次のとおり。

実施予定地域

【南方地域等での遺骨収集】
①フィリピン ②東部ニューギニア ③ビスマーク・ソロモン諸島(ブーゲンビル島・ガダルカナル島等) ④インドネシア(パラオ諸島) ⑤マリアナ諸島(グアム島・北マリアナ諸島) ⑥トラック諸島 ⑦マーシャル諸島

【旧ソ連抑留中死亡者の遺骨収集】
実施予定表参照
※相手国行政機関等との調整、現地の治安状況等により事業が変更される場合があります。

【旧ソ連抑留中死亡者の遺骨収集】
実施予定表参照
※相手国行政機関等との調整、現地の治安状況等により事業が変更される場合があります。

【旧ソ連抑留中死亡者の遺骨収集】
実施予定表参照
※相手国行政機関等との調整、現地の治安状況等により事業が変更される場合があります。

【旧ソ連抑留中死亡者の遺骨収集】
実施予定表参照
※相手国行政機関等との調整、現地の治安状況等により事業が変更される場合があります。

【旧ソ連抑留中死亡者の遺骨収集】
実施予定表参照
※相手国行政機関等との調整、現地の治安状況等により事業が変更される場合があります。

【旧ソ連抑留中死亡者の遺骨収集】
実施予定表参照
※相手国行政機関等との調整、現地の治安状況等により事業が変更される場合があります。

2019年度 遺骨収集派遣 実施予定表(旧ソ連地域)

| 地域名 | 派遣期間 |
|----------------------|------------------|
| 1 ハバロフスク地方(第1次) | 7月22日(月)~8月7日(水) |
| 2 イルクーツク・ザバイカル地方 | 7月22日(月)~8月7日(水) |
| 3 ハバロフスク地方(第2次・2班編成) | 8月19日(月)~9月4日(水) |
| 4 カザフスタン共和国 | 8月19日(月)~9月4日(水) |
| 5 樺太・千島 | 11月頃 |

【旧ソ連抑留中死亡者の遺骨収集】
実施予定表参照
※相手国行政機関等との調整、現地の治安状況等により事業が変更される場合があります。

【旧ソ連抑留中死亡者の遺骨収集】
実施予定表参照
※相手国行政機関等との調整、現地の治安状況等により事業が変更される場合があります。

【旧ソ連抑留中死亡者の遺骨収集】
実施予定表参照
※相手国行政機関等との調整、現地の治安状況等により事業が変更される場合があります。

【旧ソ連抑留中死亡者の遺骨収集】
実施予定表参照
※相手国行政機関等との調整、現地の治安状況等により事業が変更される場合があります。

【旧ソ連抑留中死亡者の遺骨収集】
実施予定表参照
※相手国行政機関等との調整、現地の治安状況等により事業が変更される場合があります。

民間建立慰霊碑移設等事業

日本遺族会が厚生労働省から委託を受けて実施している海外民間建立慰霊碑移設等事業は、今年二月に派遣したフィリピン・レイテ島への調査、埋設等事業を実施

日本遺族会が厚生労働省から委託を受けて実施している海外民間建立慰霊碑移設等事業は、今年二月に派遣したフィリピン・レイテ島への調査、埋設等事業を実施

日本遺族会が厚生労働省から委託を受けて実施している海外民間建立慰霊碑移設等事業は、今年二月に派遣したフィリピン・レイテ島への調査、埋設等事業を実施

日本遺族会が厚生労働省から委託を受けて実施している海外民間建立慰霊碑移設等事業は、今年二月に派遣したフィリピン・レイテ島への調査、埋設等事業を実施

日本遺族会が厚生労働省から委託を受けて実施している海外民間建立慰霊碑移設等事業は、今年二月に派遣したフィリピン・レイテ島への調査、埋設等事業を実施

日本遺族会が厚生労働省から委託を受けて実施している海外民間建立慰霊碑移設等事業は、今年二月に派遣したフィリピン・レイテ島への調査、埋設等事業を実施

日本遺族会が厚生労働省から委託を受けて実施している海外民間建立慰霊碑移設等事業は、今年二月に派遣したフィリピン・レイテ島への調査、埋設等事業を実施

慰霊祭行

東日本大震災から八年目を迎えた三月十一日、九段会館震災被害者及び東日本大震災犠牲者慰霊祭が日本遺族会事務所内で執り行われた。

東日本大震災から八年目を迎えた三月十一日、九段会館震災被害者及び東日本大震災犠牲者慰霊祭が日本遺族会事務所内で執り行われた。

東日本大震災から八年目を迎えた三月十一日、九段会館震災被害者及び東日本大震災犠牲者慰霊祭が日本遺族会事務所内で執り行われた。

東日本大震災から八年目を迎えた三月十一日、九段会館震災被害者及び東日本大震災犠牲者慰霊祭が日本遺族会事務所内で執り行われた。

東日本大震災から八年目を迎えた三月十一日、九段会館震災被害者及び東日本大震災犠牲者慰霊祭が日本遺族会事務所内で執り行われた。

東日本大震災から八年目を迎えた三月十一日、九段会館震災被害者及び東日本大震災犠牲者慰霊祭が日本遺族会事務所内で執り行われた。

東日本大震災から八年目を迎えた三月十一日、九段会館震災被害者及び東日本大震災犠牲者慰霊祭が日本遺族会事務所内で執り行われた。

日本遺族会への賛助金のお願

日本遺族会では、戦没者の英霊顕彰や遺族支援、慰霊友好親善事業、遺骨収集帰還等各種事業の活動のために賛助金を募っております。本会の活動の趣旨にご理解を賜り何卒ご賛助いただけますようお願い申し上げます。

日本遺族会では、戦没者の英霊顕彰や遺族支援、慰霊友好親善事業、遺骨収集帰還等各種事業の活動のために賛助金を募っております。本会の活動の趣旨にご理解を賜り何卒ご賛助いただけますようお願い申し上げます。

日本遺族会では、戦没者の英霊顕彰や遺族支援、慰霊友好親善事業、遺骨収集帰還等各種事業の活動のために賛助金を募っております。本会の活動の趣旨にご理解を賜り何卒ご賛助いただけますようお願い申し上げます。

日本遺族会では、戦没者の英霊顕彰や遺族支援、慰霊友好親善事業、遺骨収集帰還等各種事業の活動のために賛助金を募っております。本会の活動の趣旨にご理解を賜り何卒ご賛助いただけますようお願い申し上げます。

日本遺族会では、戦没者の英霊顕彰や遺族支援、慰霊友好親善事業、遺骨収集帰還等各種事業の活動のために賛助金を募っております。本会の活動の趣旨にご理解を賜り何卒ご賛助いただけますようお願い申し上げます。

日本遺族会では、戦没者の英霊顕彰や遺族支援、慰霊友好親善事業、遺骨収集帰還等各種事業の活動のために賛助金を募っております。本会の活動の趣旨にご理解を賜り何卒ご賛助いただけますようお願い申し上げます。

日本遺族会では、戦没者の英霊顕彰や遺族支援、慰霊友好親善事業、遺骨収集帰還等各種事業の活動のために賛助金を募っております。本会の活動の趣旨にご理解を賜り何卒ご賛助いただけますようお願い申し上げます。

好訪問 友訪 慰親 靈善 四地域相次いで実施 亡き父たちの足跡辿る

日本遺族会では戦没者遺児による慰霊友好親善事業のミャンマー(特定地域)、マレーシア・ギルバート諸島、フィリピン二次、中国地域に総勢百四十五人の戦没者遺児が参加し、永年の念願であった父の眠る地において慰霊追悼を行うと共に病院・小学校を訪問し車椅子や学用品等の寄贈や植林活動等の友好親善を行った。

ミャンマー

市来健之助本会副会長(山口県遺族連盟会長)を総括団長とするミャンマー慰霊友好親善訪問団二十四人は、二月二十六日東京の九段にある靖国会館で結団式を行い翌日、父終焉の地ミャンマーに歩を印した。一行は二班に分かれ、それぞれ慰霊地へと向かった。

A班は、今回初めての訪問となったラシオで慰霊祭を行い、周辺各地や遙か中国雲南省等に眠る父たちに積年の想いを語りかけた。また、マンダレー街道沿いのペグーの寺院やピュー郊外レップンコ村のシタン河畔、トンギー郊外の寺院、ヤンゴンで慰霊祭を行い、共に散華された英霊の冥福を祈った。

B班は、治安が回復したアキヤブを七年ぶりに訪問し、ベンガル湾入江の海岸で遠くアラカン山系に連なる山々を望み慰霊祭を行い、亡き父への想いを涙ながらに語りかけた。さらに、マンガレー郊外のミンゲ、サガ

インヒル、フーコン谷地隣接のモガウン、ミートキーナでそれぞれ慰霊祭を行った。

友好親善としてA班は、本会が平成十四年四月に寄贈したペグーのカドウィンチャン小学校を訪問し学用品等を寄贈、生徒や先生と交流を深め記念植樹を行った。また、ラシオとミートキーナの病院でそれぞれ車椅子を寄贈した。

三月四日、ヤンゴンの北オカラッパ「ビルマ平和記念碑」で全戦没者追悼式を挙行し、ご英霊に感謝と哀悼の誠を捧げ、六日帰国の途についた。

安齋満本会評議員を団長とするマレーシア・ギルバート諸島慰霊友好親善訪問団(団員十人)は、三月九日に靖国神社で結団式を行い、翌十日、グアム島へ移動した。

訪問団は十一日、グアム島を出発し、アイルランドホッピング便でチューク、ポナペ、コスラエを経由し、アメリカの租借地で米軍の基地施設となつてクエゼリン環礁クエゼリン島に到着した。

米軍側の案内で十二日はルオット島(ロイ・ナムル島)、十三日はクエゼリン島の日本人墓地慰霊碑でそれぞれ慰霊祭を行い、亡き父に語りかけた。また、マレーシア諸島共和国の首都マジュロから飛行機をチャーターし、十四日はギルバート諸島(キリバス共和国)タラワ環礁ベシオ島、十五日はウォッゼ環礁ウォッゼ島を訪問し慰霊祭を行い、亡き父の足跡を辿った。

十五日、マジュロ市内の小学校、医療機関に学用品、車椅子等を寄贈した訪問団は、「東太平洋戦没者の碑」において、

マレーシア

十五日、マジュロ市内の小学校、医療機関に学用品、車椅子等を寄贈した訪問団は、「東太平洋戦没者の碑」において、

フィリピン

善訪問団(総括団長関谷忠・日本遺族会理事)は三月十三日、三十四都道府県の戦没者遺児八十八人(他、付添者六人)が東京・靖国会館に集合し結団式を行い、翌日フィリピンに向け成田空港を出発した。

午後、首都のマニラに到着した一行は六班に分かれ、それぞれ亡き父の縁の地へ移動し、翌日より慰霊巡拝を行った。一方、ルソン島のA・B・D地区にある「無名戦士の墓」に赴き、碑に花輪を手向け敬意を表した。

ネグロス島の小学校で折紙を指導する団員ら(3月15日)

港を出発した。

A班十六人(付添者三人含む)は、コレドール島やマニラ東方のワワ、マニラ市内等の六カ所で、B班十二人は、マニラ東方のイボヤボソ、マニラ南方のルセナ等の六カ所で、C班十五人(付添者一人含む)は、ルソン島北西部のクラークやバギオ周辺等の五カ所で、D班十二人(付添者一人含む)は、ルソン島北東部のアパリヤツゲガラオ、バレット峠周辺等の八カ所で、E班十九人(付添者一人含む)は、ネグロス島のバコロドやミンダナオ島のダバオ周辺等の三カ所で、F班十七人は、セブ島市内やレイテ島のオルモック周辺、カンギポット山周辺、ブラウエン等の六カ所でそれぞれ慰霊祭を行い、亡き父に涙しながら積年の思いを果たした。

十九日にはカリヤラにある日本政府建立の慰霊碑前にて全班揃って、全戦没者追悼式を挙行し、ご英霊に感謝の誠を捧げた。また、各班とも小学校や病院を訪問し、サッカーボールや縄跳び、学用品、衣類、車椅子等を寄贈し、子供達や現地の方々と触れ合うなど友好親善に努めるとともに記念植樹も行った。

中日友好訪問団(総括団長・畔上和男本会専務理事他二十六人)は、三月二十二日、東京・千代田会館に集合し結団式を行い、その後靖国神社で旅の安全を祈願し前泊の成田のホテルへと向った。

翌日、成田空港から中国上海へと出発した一行は、到着後、三班に分かれ、それぞれ亡き父のゆかりの地へと向かい、足跡を辿った。

A班団員八人は上海、鄭州、石家荘で、B班団員九人は済南、武漢、長沙で、C班団員九人は広州、桂林、衡陽の滞在中、室内に設けた祭壇に、テルで慰霊祭を執り行い、故郷から持参した水やお供物、家族の写真などを供え、積年の思いを込めて書いた追悼文を通して、手向けの言葉や、母のこと、自分と家族の近況などを亡き父へ伝えた。

二十八日に、全班が北京で合流し、翌二十九日には、万里の長城(八達嶺)で、日中友好の植林活動を行い、コノテカシワの木を一人一本ずつ丁寧に植えた。夕刻から中国日本国大使館代表の来賓を懇談会に招き、日中友好の情報交換に努めた。翌三十日、所期の目的を果たした一行は無事に帰国した。

本会への賛助金のお礼

本紙(二面)でもお願

方々に対し、お礼申しあげます。

なお、大変恐縮ではございますが都道府県名に

ついては、送金方法により居住地が特定できない場合がありますので、省略させていただきます。

賛助者名(敬称略・カタカナ名は銀行振込、漢字名は現金書留等)

高山映、谷島國高、田見昌宏、緒方慶之、板尾文生、斎藤正子、山中アキエ、後藤昭子、前田多様、坂口成子、工藤かち、仲田良一、中川允子、緑川千代恵、雛形明美、鈴木勇石、原新一、齋藤征司、後藤清孝、青木草子、嶋田謙治、マエジマチユウイ、チロウ、アカホリミチヨ、コガトシロウ(以上、三月一日から三月末日まで)

皆様からいただきました賛助金は、本会が実施する各種慰霊事業などの活動費用に利用させていただきます。誠にありがとうございました。

部武利、前田宗彦、平野敏雄、橋本輝子、鈴木脩、加藤きみみ、宮本一美、大木昭郎、今泉有輝子、高橋節子、北博川島茂夫、中村榮子、土屋リエ子、大前勝巳、安岡美佐女、根本征子、中村正子、国見昌宏、緒方慶之、板尾文生、斎藤正子、山中アキエ、後藤昭子、前田多様、坂口成子、工藤かち、仲田良一、中川允子、緑川千代恵、雛形明美、鈴木勇石、原新一、齋藤征司、後藤清孝、青木草子、嶋田謙治、マエジマチユウイ、チロウ、アカホリミチヨ、コガトシロウ(以上、三月一日から三月末日まで)

部武利、前田宗彦、平野敏雄、橋本輝子、鈴木脩、加藤きみみ、宮本一美、大木昭郎、今泉有輝子、高橋節子、北博川島茂夫、中村榮子、土屋リエ子、大前勝巳、安岡美佐女、根本征子、中村正子、国見昌宏、緒方慶之、板尾文生、斎藤正子、山中アキエ、後藤昭子、前田多様、坂口成子、工藤かち、仲田良一、中川允子、緑川千代恵、雛形明美、鈴木勇石、原新一、齋藤征司、後藤清孝、青木草子、嶋田謙治、マエジマチユウイ、チロウ、アカホリミチヨ、コガトシロウ(以上、三月一日から三月末日まで)

部武利、前田宗彦、平野敏雄、橋本輝子、鈴木脩、加藤きみみ、宮本一美、大木昭郎、今泉有輝子、高橋節子、北博川島茂夫、中村榮子、土屋リエ子、大前勝巳、安岡美佐女、根本征子、中村正子、国見昌宏、緒方慶之、板尾文生、斎藤正子、山中アキエ、後藤昭子、前田多様、坂口成子、工藤かち、仲田良一、中川允子、緑川千代恵、雛形明美、鈴木勇石、原新一、齋藤征司、後藤清孝、青木草子、嶋田謙治、マエジマチユウイ、チロウ、アカホリミチヨ、コガトシロウ(以上、三月一日から三月末日まで)

慰霊友好親善事業 遺児の参加者を募集

慰霊友好親善事業には、参加者の高齢化を考慮し、看護師が同行して募集要項は次のとおりとなる。

参加資格 戦没者の遺児。平成三十年年度参加者を除き、複数回の応募が出来る。

参加費 10万円 ※東京等に集合し、結団式及び渡航に係る説明会を行う。なお、集合場所まで及び解散場所から

参加者の資格審査に当

たり、申込書の記入項目の全てに記入を要するの

で、事前に申込用紙を取り寄せていただき、記入項目に不明な点(戦没者の部隊名等)があれば各遺族会に相談し条件を満たしたうえで提出願いたい。

なお、申込多数の場合は選考となる。

また、巡拝地域や実施時期等は、相手国や交通機関等の事情で変更、延期または中止となる場合がありますので、予めご了承願いたい。

2019年度戦没者遺児による慰霊友好親善事業概要(広域地域)

| 実施地域 | 実施時期 | 募集人員 |
|------------------|------------|------|
| 1 旧満州 | 2019年8月上旬 | 40人 |
| 2 旧ソ連 | 2019年8月下旬 | 40人 |
| 3 西部ニューギニア | 2019年9月上旬 | 40人 |
| 4 ソロモン諸島 | 2019年9月下旬 | 20人 |
| 5 東部ニューギニア | 2019年10月上旬 | 42人 |
| 6 トラック・パラオ諸島 | 2019年10月中旬 | 40人 |
| 7 ボルネオ・マレー半島 | 2019年10月下旬 | 40人 |
| 8 フィリピン(1次) | 2019年11月上旬 | 120人 |
| 9 マリアナ諸島 | 2019年11月下旬 | 40人 |
| 10 ミャンマー | 2019年12月中旬 | 60人 |
| 11 台湾・バシー海峡 | 2020年2月上旬 | 30人 |
| 12 ビスマーク諸島 | 2020年2月中旬 | 40人 |
| 13 マーシャル・ギルバート諸島 | 2020年3月中旬 | 40人 |
| 14 フィリピン(2次) | 2020年3月中旬 | 120人 |
| 15 中国 | 2020年3月下旬 | 80人 |

| 実施地域 | 実施時期 | 募集人員 |
|------------|-----------|------|
| 1 西部ニューギニア | 2020年1月下旬 | 36人 |
| 2 東部ニューギニア | 2020年2月中旬 | 36人 |
| 3 ミャンマー | 2020年2月下旬 | 36人 |

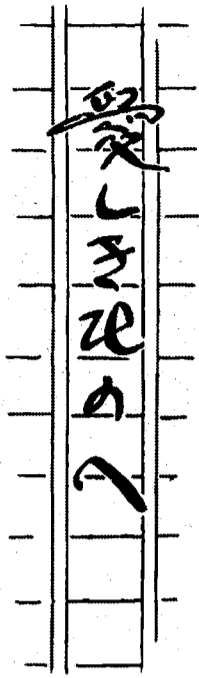
2019年度戦没者遺児による慰霊友好親善事業概要(特定地域)

2019年度戦没者遺児による慰霊友好親善事業概要(特定地域)

第58回沖繩平和祈願 慰霊大行進の参加者募集

日本遺族会では、毎年六月二十三日に沖縄県遺族連合会と共催で実施している「沖繩平和祈願慰霊大行進」が今年で五十八回目を迎え、参加者を募集している。この事業は、先の大戦で多くの尊い命が失われた沖繩戦を振り返り、砲弾降りしきる中、苦難の撤退を余儀なくされた戦没者が辿った道程を行進し、平和を祈願するものである。

本会は沖縄県遺族連合会と共催で実施する「第58回沖繩平和祈願慰霊大行進」の参加者を募



遺書

陸軍兵長 玉田 久太夫

昭和二十年四月八日
フィリピン ルソン島にて戦死
兵庫県多可郡中町出身 三十三歳

其の後変はりなきや、俺はこの度戦地に向かふについて最後に一言を記す。
お前は俺のもとに嫁いで一意見をもつて又、温情をもつて今日まで約十ヶ年、本当によく盡してくれた事を深く感謝する。
お前と結婚して十ヶ年、あまり長い契りとも言へないが、思ひ出せば懐かしく又、嬉しき事もあり、だ。しかし、俺も一度家を出たからは、敢へて生還は期すことは出来ないと。しかし、これこそ皇国男子の本懐だ。

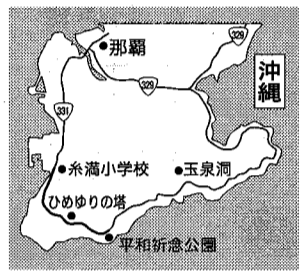
又、俺の戦死を聞いても決して取り乱した振舞ひはしてくれな。俺は一足先にあの世とかへ行つて、お前の必ず来るのを待つてゐる。二十年三十年は長い様でも悠々の天地から見れば、ほんの一瞬だ。
(中略)
何卒、今後は身の重責を自覚して健康に注意して、俺亡き後は心丈夫にしつかりとこの世の中を渡つてくれる事、靖國の社内より祈つて居る。
又、幼児成長すれば一度は靖國神社へ連れて参つてくれ。
では家内皆、達者で暮らしてくれ。なほ村の人や親類や友達にも宜しくね。

玉田志ずる殿

玉田久太夫

【平成三十一年四月靖國神社社頭掲示
愛しきもののへ
(原文のまま)

- 参加募集要項は以下のとおり。
- 期間 六月二十二日(土)〜二十四日(月)
- 二泊三日
- 費用 三万六千円程



※費用には宿泊代、食費、バス借上げ代、添乗員費用、懇親会費用等が含まれる。
③参加人数により費用は異なります。また、自宅から沖繩の往復交通費、那覇空港から那覇市内のホテルまでの往復交通費



第57回平和祈願慰霊大行進=平成30年6月23日

九段短歌

元日に日の丸掲げて孫に見せ戦死の父のことなど話す

中国は攻めあぐむべき存在と父の教えに今習近平あり

戦没の骨なき父の奥津城に九十六の母を葬る

九段短歌投稿なすも戦死せし父への供養とポストに向かう

友好に遺族会の贈る車椅子病む子どもたち笑みて頷く

独身にて命ささげし英霊に花嫁人形奉納されをり

ふるさとへの思ひを秘めて戦死せず父に見せし庭の梅咲く

シベリアで戦死せし父の面影は若き日の写真そのままにして

浜千鳥親をさがして鳴く鳥が我にも似たり慰霊の旅路

平成もあと僅かになりました。両陛下の慰霊の深い

み心を御製とみ歌により偲びたいと思います。

戦に散りにし人に残されしうからの耐えしながとせ思ふ

日本遺族会創立四十五周年に 平成五年御製

地方たより

日章旗を遺族へ返還 兵庫県と福島県で

本会が平成三十年度より厚生労働省の委託を受け実施している「戦没者遺留品の返還に伴う調査事業」で、兵庫県と福島県で日章旗の持ち主遺族が判明した。いずれも個人からの問い合わせで判明しており、本事業では稀なケースである。

兵庫県では、フィリピンで戦死した松江寿男さんの日章旗が赤穂郡上郡町に住む長男の実男さんに返還された。

日章旗は青森県むつ市役所に勤務していた米國

ふるさとへの思ひを秘めて戦死せず父に見せし庭の梅咲く

シベリアで戦死せし父の面影は若き日の写真そのままにして

浜千鳥親をさがして鳴く鳥が我にも似たり慰霊の旅路

実施された大会、研修会等は次のとおり。

富山県 3月2日
平成30年度役員合同研修会(104人)

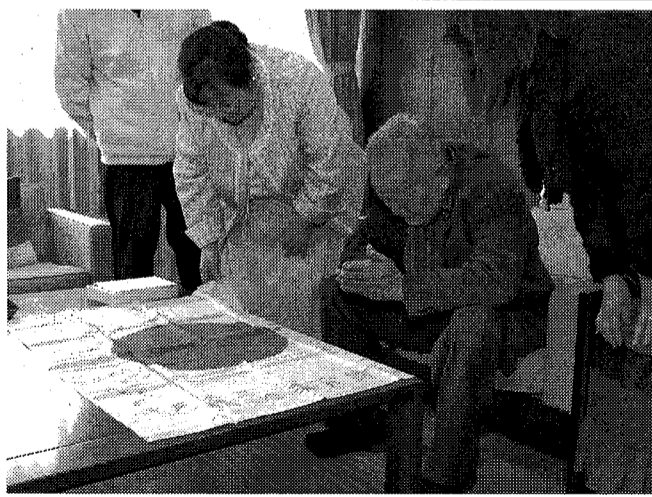
栃木県 3月2日
平成30年度栃木県遺族連合会女性部主催研修会(280人)

香川県 3月2日

徳島県 3月9日
第54回語り部事業(55人)



チャールズワースさんから日章旗を受け取った匡子さん(右)=3月25日、郡山市役所で



受け取った日章旗に手を合わせる長男の実男さん=3月17日、上郡町役場で

本会事業参加者の皆様へ

本会の事業に参加するに当たり、得た個人情報「個人情報保護法」の定めにより、厳重に扱います。日本遺族会の個人情報保護方針につきましてはホームページを参照されるか、本会にお問い合わせください。